

富山市教育委員会会議録

令和3年10月臨時会

- 1 日 時 令和3年10月15日（金曜日）
午後 1時30分 開会
午後 1時50分 閉会
- 2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 大会議室
- 3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 藤 井 久 丈
委 員 尾 畑 納 子
- 4 説明のために出席した者
事務局長 金 山 靖
事務局理事（学校再編担当） 舟 崎 文 彦
事務局次長（総務・社会教育担当） 山 本 貴 俊
事務局次長（学校教育担当） 大久保 秀 俊
教育総務課長 石 黒 健 一
学校再編推進課長 関 谷 雄 一
学校施設課長 井 上 剛 秀
学校教育課長 竹 脇 孝 志
学校保健課長 宮 前 仁
生涯学習課長 高 橋 祐 子
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹 大 島 聡
教育総務課長代理（管理係長） 余 川 毅
教育総務課主査 宮 森 知 佳
- 6 傍聴人数 0人
- 7 付議案件

(1) 議 案

- 議案第 4 3 号 富山市立小・中学校再編原案について
議案第 4 4 号 富山市立小・中学校再編原案の諮問について

8 会議の要旨

【開会】

- [教育長] 開会を宣言する。
本日は、高田委員が欠席であるが、委員の過半数が出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

- [教育長] 9月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【議案第 4 3 号】

- [教育長] 議案第 4 3 号について事務局から説明を求める。
[学校再編推進課長] (議案第 4 3 号について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[藤井委員] 再度確認だが、再編対象校の組合せの考え方は、全て網羅されいて、これに入っていないものは何もないのか。
[学校再編推進課長] 再編対象校となっている 27 校については、基本方針、並びに考え方に沿って原案を取りまとめている。その中で、最終的に絞り込まれた 36 案について諮問したいと考えている。
[若林委員] 先程の 7 ページの説明について、新しい時点のデータを入れたということだが、それによって再編の基本データについて何か変化は生じたのか。

- [学校再編推進課長] 具体的には、7ページの再編原案、富山中央-1の「通学距離」は、前回は「0人・0%」だったが、今回最新のデータを入れたことにより、「2%・3人」と変わっている。そのような箇所が3箇所ほどある。例えば、14ページの富山北部地域も、前回は「0%・0人」だったが、「3%・3人」に変わっている。
- また、8ページの右側、上の方にある円グラフは、再編後の通学距離を表している。前回は、通学距離3キロ以内を表す薄いブルーが100%になっていたが、今回は、通学距離3キロ超えを表すオレンジの部分1.9%が追加され、その部分に変更になっている。
- [教育長] 細かいところだが、その変更に伴い、8ページ下のコメントが、前回までの資料では「通学距離3キロメートルを超える児童生徒が存在しない」となっていたものが、新たなデータに基づいて試算したところ、3キロを超える児童生徒が出てきたことにより、「通学距離3キロメートルを超える児童生徒が存在する」と変更している。
- [若林委員] 学校規模・学級数のところに「適正」や「規模大」等書いてあるが、この部分については特に変更がなかったということか。
- [学校再編推進課長] 変更はない。
- [若林委員] これは、他の地域についても特に変更はなかったということか。
- [学校再編推進課長] 他の地域も変更はない。
- [尾畑委員] どこかでフィックスしなければ、様々なシミュレーションができないと思う。例えば、何か条件に変化があった場合は、どのように対応していくことになるのか。
- [学校再編推進課長] 例えば、今の通学距離については今現在の児童の住所地で判定している。最終決定する際には、その時点での最新のデータに置き換えた形で見ていかないと、通学距離についても正しいものが出ない。それによって児童生徒の負担が増えるということになれば、スクールバス等も検討することになる。そのため、最新のデータを用いて、再度検討することになる。
- [尾畑委員] ある範囲で変動があっても、ある程度の形を示して、再編を進めるための足がかりを作っていくという理解でよいか。今後は、微変動に対応していくということか。
- [学校再編推進課長] おっしゃるとおりである。
- [尾畑委員] 学校の編成が変わっていくことによって、今までは小学校単位で様々なライフステージに応じた生活行動というものがあつたが、それが変わっていくということも、ある程度考慮しないといけない。それに対しては何か考えているのか。
- [学校再編推進課長] 地域の活動や行事の単位が各校下で行われているため、それが今後本当に継続していけるのかどうかということも考えなければならない。また、逆に新しく地域が加わることによって、それぞれの

子どもたちの数だけではなく、大人の数も減ってきている中で、複数の地域で行事等を一緒にやってみるとい話も、出てくるのかもしれない。そういうことがあれば、学校等に協力してもらうことが必要になるのではないかと考えている。

[尾畑委員]

これまでも幾つかある好事例をうまく提示しながら、地域の機能が崩壊しないようなシステムを行政の方からも支援してほしい。今までは、富山市は戦後ずっと今の形でうまくいっていたが、それが時代とともに変わっていくこと、変わらないといけないということも理解はできる。しかし、最近は災害等で地域に求められることが多くなってきていることもあるため、もし再編を進めていくとすれば、地域の機能が崩壊しないよう考えながら進めていただきたい。

[藤井委員]

この前も同じようなことを聞いたかもしれないが、今後、地域生活圏がある程度変わってくる可能性がある地域、つまり富山市での開発に伴う子どもたちの人口の変動は、どの程度予想されているのか。

[学校再編推進課長]

各再編原案、36案については、全て今富山市で計画している都市計画、立地適正化計画もあり、例えばどの地域に人口を集めるか、どの地域に町の商業施設を建設するか、また様々な施設を集約するというを都市計画で決めている。その地域に再編の対象になっている学校が入っているか入っていないかということは確認している。

ただ、地域の方の要望もあるため、その地域に入っていないからといって、その学校の再編ができないということにはならないと思っている。それは4月以降、地域ごとの話し合いの中で、どのような意見が出るかを見て考えていきたい。

[藤井委員]

今の話の中で、地域の開発という中に、その学校があるかないかではなく、その人口あるいは生活の行動様式等は、数字的に考慮はされているのか。

[学校再編推進課長]

人口予想については、地域の開発等の影響については含めず算定している。あくまで過去5年間の人口推移を考慮して算定している。

[教育長]

その他、質問等はあるか。

本日欠席の高田委員からも質問、御意見等がないという連絡を受けている。

それでは、採決を行う。議案第43号について、異議があるか。

[各委員]

異議なし。

[教育長]

異議なしと認める。よって議案第43号は原案のとおり可決した。

【議案第 4 4 号】

- [教育長] 議案第 4 4 号について事務局から説明を求める。
- [学校再編推進課長] (議案第 4 4 号について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [尾畑委員] この審議会に諮問される場合に、今回の資料のほか、市を取り巻く様々なこと、例えば都市計画等による将来の富山市が分かるような資料があればよいのではないか。
- [学校再編推進課長] 今日、委員の皆様にはお配りしていないが、通学区域審議会では、基本方針や考え方、富山市の現在の学校の位置図、それから学校がこれまでどのような変遷をたどってきたかという資料、さらに都市計画関連の資料などもセットにして配付する予定である。それらを見ながら議論をいただきたいと思っている。
- [尾畑委員] できるだけ分かりやすい資料を見ていただき、その上で判断していただきたいなと思っている。
- [教育長] 先ほど担当課長から、今後通学区域審議会を複数回開催するとの説明があったが、資料も膨大なため、複数回にわたって各地区ごとに詳細な説明を申し上げ、質問等を受けながら御審議いただくということで、きめ細かく進めていこうと計画を立てているところである。
- [各委員] それでは、採決を行う。議案第 4 4 号について、異議があるか。
- [教育長] 異議なし。
- [各委員] 異議なしと認める。よって議案第 4 4 号は原案のとおり可決した。
- [教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
- [各委員] 質問なし。

【閉会】

- [教育長] 閉会を宣言する。